

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校演劇鑑賞教室				所管	教育委員会 指導課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	68	計画事業名	子供の文化教育の充実			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出 [小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり [施 策] ①文化に触れる機会の充実				[事業開始]	年度			
	根拠法令等	その他	[法令等名]	学習指導要領				[終了予定]	- 年度	
	事業対象	直接の対象 : 区立小学校 最終的な対象 : 上記第6学年児童								
	事業目的	区立小学校の児童が能・狂言を鑑賞することにより、伝統芸能に触れる機会を通して創造性を養い、児童の豊かな情操を育てるとともに鑑賞態度を身に付けさせる。								
	事業内容 [29年度]	区内に能・狂言を行う事業者があることから、児童が普段馴染みのない能や狂言を鑑賞する機会を与え、伝統芸能に触れ、そのよさを理解するとともに鑑賞のマナー等を学ぶ。								
	委託の有無	一部委託	委託内容	能・狂言の公演 舞台装置設置作業						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		達成率	
	活動指標	開催回数	回	2	2	2	2	2	100.0%	
	成果指標	参加児童数	人	1,030	1,081	1,022	1,027	1,030	99.7%	
	決算額 (単位：千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			241		178		168	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			3,822		3,824		3,824	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0		0		0	
		総経費			4,063		4,002		3,992	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など) 一般財源 (区負担額)			0 4,063		0 4,002		0 3,992	
前回評価から29年度に改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	小学校学習指導要領(国語)で、言語文化への興味・関心を深めるために、能、狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎、落語などを鑑賞することが示されている。伝統文化が継承されている本区において児童が能・狂言を鑑賞し、伝統文化を守っていく素地を育むことは必要である。							
	効率性	3	1日2公演の実施で全ての小学校の鑑賞を行うことによりコストを抑え、効率的な運営を行っている。							
	手段の適切性	3	能楽師が本区に在住しており、演目の検討や事前学習を行うにあたって協力を得ている。他地区でこのような環境に恵まれた地区は少数であり、本物に触れる体験を児童に提供するうえで最適である。							
目的達成度	3	対象となる児童ほぼ全員に鑑賞機会を提供することができている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
能や狂言の鑑賞を通じて子どもの創造性を高める本事業は、情操教育に効果的である。また、すべての区立小学生が鑑賞を体験することは、日本の伝統文化に対する理解の下地を作るために有効である。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		